

令和6年度 第2回 宇城市まち・ひと・しごと創生有識者会議議事録

日時：令和7年1月31日（火）午前10時00分～

場所：宇城市役所 新館1階 第4会議室

1 開会

2 会長挨拶

3 議事

（1）第2期宇城市まち・ひと・しごと創生総合戦略の成果検証について

（2）宇城市地方創生総合戦略の策定について

（3）令和7年度以降の宇城市まち・ひと・しごと創生有識者会議体制について

（4）その他

4 閉会

【配布資料】

- ・ 次第
- ・ 有識者会議委員名簿
- ・ 席次表
- ・ 【資料1】 令和6年度第2回宇城市まち・ひと・しごと創生有識者会議資料
- ・ 【資料2】 宇城市人口ビジョン【改訂版】（案）
- ・ 【資料3】 事前の質問に対する回答

1 開会

欠席委員：坂井委員

2 会長挨拶

本日は現行の総合戦略の成果検証と次期の戦略策定、本会議の今後の体制についての議事となります。資料にもありますように、国が進めています地方創生2.0あるいはそれに伴う様々な地方創生に関連する交付金などかなり予算が付けられています。しかしながらそれは、以前の様なバラマキではないので、きちんとプランに基づいて申請しなければ何ら宇城には来ないということになります。それも踏まえた総合戦略の内容とそれに紐づいた基本施策となりますので、皆様からの忌憚のない御意見をよろしくお願いいたします。

3 議事

(事務局)

議事については、有識者会議運営要綱の規定により、会長に議事進行をお願いする。

(会長)

それでは議事に入る。(1)第2期宇城市まち・ひと・しごと創生総合戦略の成果検証について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

【資料1】令和6年度第2回宇城市まち・ひと・しごと創生有識者会議資料について説明

■第2期宇城市まち・ひと・しごと創生総合戦略の成果検証について
基本目標ごとの達成状況及び課題等について説明

(会長)

事務局の説明に関して、委員の皆様から御意見、御質問等はないか。

(会長)

健康づくり活動参加者数などは、要は需要の関係だと思う。市民の方はどのようなことを求めているのか。どのような年齢層を参加者として想定して、どういう中身のイベントをするのか、それについて事前に市民の方々から意見を聞くなり、アンケートをするなり。例えば小中学生向けのプログラムであれば、今は

子ども福祉と高齢者福祉を一緒にやるというのは当たり前なので、もし校長に頼めれば学校ではアンケートがとれる。高齢者については活動の参加者から意見はとれる。そうすると、子どもも高齢者も同時に参加できるようなイベントを考えようと思えば考えられるはずなので、その時にちゃんと需要、こういうプログラムなら行こうかなとなるようなイベントじゃなくて、前からあるものをそのままやってコロナ明けたんだけど来ないんですよと言ってもそれは需要がないから来ないだけ。だからイベントなどやるときも担当課は事前に必要な情報を得る努力をしているのか。あるいは移住定住にしても地域の付加価値を付けないと、今は地域間競争なので。その辺もちゃんと理解しておかないと。単に住みよいまちです、そんなのはどこでも言っている。要は地域の付加価値とは何かというと、地域に住んでいる住民が醸し出す付加価値。新たにものをつくるのではなくて。そういったものをちゃんと準備しておいて、色々なことをする。

国は予算を取っているわけだが、それをいかにとれるような施策を打っていくかということがひとつだと思う。

何かしましたけど結果が出ませんでした。それならば何が要因で目標とした数値が出なかったのか。そこをちゃんと担当課なりがレビューしているか、それを庁内で回して、いやそのレビューはおかしいよと、庁内でたたいて次に活かさない。結局繰り返しになって、次も上がらない。その辺の部分をきちんとしておかないと厳しい。

三角西港についても、質問の回答にあるようにどう見てもスペースが足りない。西港オンリーで何かやるというのは無理。さらに西港を主目的に来る人がどれだけいるのか。もしそうでなければ西港を回遊ルートに位置付けたなにがしかのプログラムをつくるしかない。三角西港を主としたいのはわかるが、もし主となりえないとすれば、三角西港をうまく取り込んだ回遊性を持たせるかということ。ほとんどの人は車で来る。それで東港も活用してということであれば、車のキャパは何台あるか、何時から何時までか、そういったことを把握しておいて、じゃあこれだけあるから西港東港ではこういうことができますという形で、客観的なデータに基づいてイベントなりなんなりしないと、来てみたら全然満足度上がらないとか。満足度を上げたいのであれば、インセンティブを持たせない。付加価値があったなと思えば人間は高揚を得る。

その辺をきちんと理解して庁内で考えてもらわないと次期計画も同じようになってしまうので、しっかり検討していただければ。

(委員)

第2期の検証ということで、まあ検証はこの通りかなと思うが、これを見たときに皆さんがどう思うかなというところ。まず、K P Iとして目標を立て、それ

に向けて取り組んだ結果、達成したのが36.7%ということで、成功したのかしていないのかというと、成功とは言えないのではないかとことを言う人は言うのでは。

前から言っているが、KPIの設定というのをきちんとやらないと結果としてこうになってしまう。プラマイゼロという目標もあるが、予測としては減っていくのは目に見えているのだから、何%減るところを何%に抑えろとかいう目標にすればもう少し達成しやすいのではないか。

今回は検証結果なのでこれで良いと思うが、次期の計画はその辺も考えて、あまり無理な目標を立てるというよりも達成出来るKPIというのを立てた方が良いのではないか。そうするとやっている方もやる気が出ると思う。

(会長)

これまでも言ってきたようにKPIを変更するのは理由さえあれば自由。未達だったところをなぜ未達なのかということをちゃんと記載しないといけない。なぜ未達だったか、だから次はここをこう修正します、あるいはこのKPIは相応しくなかったので変更しますみたいに自発的に検証しておかないと。

数値はこれでいいので、なぜこうなんだということをきちんと把握して、次期計画を策定するように。

(委員)

120のKPIを後で見せてほしい。

②健康・生涯活躍のところで要介護認定率は抑えられているということで良いことだと思うが、KPIの達成率でいうとここが一番低い。KPI同士の関連性がどうなのか。最初の目標設定の時に、何を達成したいからこういう風に繋がっているという考え方があると、この②はむしろ達成率が良くてもいいのではないかと思った。

(会長)

たしかにKPIの設定については、コロナなど社会情勢も変わってということで、想定はしたものの途中経過をみて修正はできるということは担当課にも言った。その中で、各部署の思い等もあり高い目標でいって、結果達成率が90%で未達となったようなものもあり、達成か未達かということ未達が多くなっているという状況もあるので、次期計画については皆さんのご意見も踏まえながら考えていきたい。

(委員)

成果検証の内容を見て、①子育て・教育のところで、若い世代に選ばれるまちづくりをするという中で、懸念しているのが水の問題。一部かもしれないが、どうしても宇城市全体として見られてしまう。心配しているのが、次期計画を立てるに当たって、マイナスイメージからスタートする気がする。その辺を喫緊の課題として考えていかないといけないのかなと思う。

産業・都市については、新聞にも載っていたが、企業との立地協定が5件、投資額も過去最高ということで努力の跡がみられる。

観光・交流もせっかくの三角西港を活かせていないということで、まさにそのとおりだと思う。その根本的な要因として、交流人口の礎となるのは宿泊施設で、その宿泊施設が圧倒的な不足感というのも否めないのかなと思う。土台となるそういったところから進めていかなければならない。

(会長)

三角に限らず宇城市全体で見ても宿泊施設は少ない。ただ、今のホテル業界は厳しいので、確実に儲かるところにしか作らない。たしかに宿泊施設があるのとは違うのでは大違いで、あれば三角エリアを主目的として人が来る、なければ通過点となる。お金が落ちる額も変わってくるので、そういった点も含めてどう考えるかということになるかと思う。観光協会等含めて検討していただければ。

(委員)

KPIの目標値の件で、下がっているところを回復させる、維持するとなるとそれ相応の施策を打たなければならない。理由があって、そしてそこで維持するんだ、上げるんだということが通常は考えるのかなと思う。人口や人を集めることについては、多分下がっていく。なので、どれくらい下がるのかというトレンドを出してみるというのが大事。そのトレンドを出したうえで、こういう施策を打つから現状維持ですよとか下がり方を少し緩やかにするとかいう組み立て方かなと思う。

それがなかなか難しいので現状維持にしてしまうが。もうひとつは、下げると外からなぜ下げるのかというような声も出てくるので、下げる目標を設定するというのは難しい。願わくば、そういう下げるのは仕方が無いんだというような雰囲気を出さなくて議会も含めて全体で、養成したうえで作っていくと現実的な数値にもなるのかなと思う。

(委員)

最初に人口ビジョンができた時、それを見て将来このようになるんだと思っ

て、自分の会社も縮小していかざるを得ない、マーケットが縮小していくのでそれに合わせていけないといけないと思ったところ。

人口ビジョンの前提として、色々な取組をやった結果がこれなのか、何もしなければこれなのかというのが見えないが、何もしなくてこれという事であれば何かやれば回復していくということもあるかと思う。やはり人口に関して言えば、人口ビジョンが基準になると思う。

企業で考えれば、資金調達をするためにはこういったことをやりたい、だから資金が必要ということで資金を借りて事業をやる、その結果それで返済していかなければならない、それにプラス α で次の事業に持っていかなければいけない。何のために事業をするのかという目標が明確になっていれば、達成も早い、やりやすいというところがあると思う。

色々な取組をやる中で、どれが良かったのかどれがあまり良くなかったのか、良かったものは伸ばす、悪かったものはやめるというようにやっていく必要がある。一概にKPIが達成した、していないではなくて、その先にある目標にどれが一番近かったのかといったところで、何を残して何を続けるのかという検証が必要。

(会長)

大事なのはシミュレーションをすること。今人口推計は社人研のものが良く使われているが、地域特有の様々なパラメータがあるので、自治体はそういう地域のパラメータを入れてみてシミュレーションをしなければいけないと思う。そうすることによって、少なくともうちの計画はそうしたシミュレーションに基づいて、こういう施策をしますなどということが言える。もちろん誤差で間違いもあると思うが、何もなくて去年こうだったから今年もこうなどというよりはるかに良い。

(委員)

今、若い世代に選ばれるということで、子どもたちの教育、進学関係。昨年度の松橋高校の倍率が、0.25ということで、今後を担う若い世代の進学率というのが厳しくなっている。さらには宇土高校が0.6で、非常に厳しい。若者が市の県立高校を選んでいないという結果。前は8つの校区だったが、今3つで県北、県央、県南となっている。宇城市は、宇土市も含めて、県央で熊本市と同じ学区になる。今まである程度の枠しか市内の学校に入れなかった子どもたちがほとんど通るような状態。人材が中央の方に流れてしまう。熊本市で通らなかった子たちがこっちへ来て2次募集でも行こうかなれば良いが、来ないで私立高校に行ってしまう。やはり宇城市の魅力というか、宇城市に残りたい、残って

立て直すんだというような子どもたちが少なくなっているのかなと思う。

天草では、そこに危機感をもって、地元の高校に残したいということで行政的な支援をしている。宇城市でも、その辺りの対応というのを考えて欲しい。

観光の面では、日本全体ではインバウンドが増加しているというが、伸び率でいくと熊本が日本で一番高い。熊本地震後のワンピース像が功を奏しているという話を見た。熊本の中では宇土市が一番高いそう。宇城市では、コノシロのキャラクターがいたと思うが、それを前面に出して観光振興を図る必要があるかなと思っている。

(委員)

宇土市は住吉駅から住吉公園への外国人来訪がとても多いと出ている。海床路にあるジンベエ像と近くの物産館に多くの外国人が押し寄せている。住吉駅からの往復で、車で来ていないので、その先の三角港などはどうなっているのかなということを調べてみようと思っている。

(委員)

コロナ禍で出生数がかなり減った、今年の出生数も過去最低という辺りが人口ビジョンの分析の中に入っているのか。全国的な傾向もあるので、どうなのかと思った。

(会長)

国勢調査の結果を基に推計しているので、次の調査結果を受けてまた社人研が推計すると思う。

(委員)

先ほど委員が言われたコノシロのキャラクターというのは、商工会のキャラクターではあるが、宇城市でも活用して市のPRにしてもらっている。

商工会でも当初はコノシロの水揚げ量が多く、比較的安く販売できるコノシロを売っていきたいということで始めたが、水揚げ量が減ってきており、魚の確保と使ってもらえる飲食店も増えないということで、今後は地域の広報として一本立ちさせて、宇城市のPRをしていきたいと考えているところ。

(委員)

西港を活用した観光振興ということで、57号線の方から行くという考え方もあるが、宇城市は266号線の方も不知火図書館・美術館や松合の白壁土蔵群、その先には戸馳があるので、266号で回っていただくというのもあるのでは

ないか。指定管理を受けて宇城彩館と三角では元ラガールをやっているが、東港でイベントがあるときはお客さんも来ていただくが、日ごろはなかなか難しい部分があつて、もう少し東港など266号側の活用を考えていただければ。

(会長)

松橋インターからは266、インターを使わなければ57号という風になるかと思うので、それを考えてこの地域にはこれがありますよとか、ある程度ルート化するというのも手かなと思います。

(会長)

それでは(1)についてはこの辺で終了し、次の議題に移る。(2)宇城市総合戦略の策定について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

(資料1) 令和6年度第2回宇城市まち・ひと・しごと創生有識者会議資料、
(資料2) 宇城市人口ビジョン【改訂版】(案) について説明

(会長)

事務局の説明に関して、委員の皆様から御意見御質問等はないか。

(委員)

総合戦略について今から策定ということだが、宇城市としてどういうまちを目指していくのだろうかというところが一番気になる。一言で表すのは難しいと思うが、こういうまちにしたいんだというのがあつて、それを達成するためにはこういったことが必要だよ、そしてまたそこを達成するためにはこういう施策が必要だよ、ということで、事業だったりKPIだったりがついていく。まずは人口を減らさないというのが一番なのか、人口を減らさないために自然減は仕方ないと思うので、社会増を目指すならばどういうことが必要なのか、暮らしやすいまちづくりということであれば、今の宇城市で暮らしにくいとされていることがあるのではないかと。先日企業クラブと市との懇談会で移住定住をテーマに話をした。そこで出てきたのが、分別収集が嫌だということ。平日の朝からそういったものに出れるわけがないとか、色々な話が出た。そういった話があるのであればやめればいい。嫌だと思われる方がいらっしゃるのであれば、そういったところにも手を打たなければいけない。分別収集もゼロエミッションを達成するということで肝いりでやられていたと思うが、現在はそういった状況であり、やはり改善すべきところは改善しなければならないので、どこに

問題点があるのかというのをしっかりヒアリングをした方がいい。漠然とこういった計画を作りますというより、事前の調査が必要なんじゃないかなと思う。

(会長)

目指すまちについては、同時並行で上位計画である総合計画の策定が進んでいる。そちらの方でまずはっきり方向性について決めて、こちらにも降りてくるかと思うので、次回会議では中身の入ったものが出てくる予定。

(委員)

旧5町あるが、仲良くやっているかというところもあれば、問題点もある。それぞれ個性や特性があるので、十分に考えながら、地域の方の声も聴いて、宇城市全体をどうしていくのかということを出してもらいたい。

(委員)

目指す姿について住民や企業と共有して進めていきたいとあるが、やはり行政だけでやられても難しいところもあるかと思うので、我々民間とも共有してやっていただいた方が絶対に良いと思うので、よろしくお願いします。

肥後銀行では、昨年中期計画がスタートしているが、地域毎でK P Iを立てており、松橋ブロックにおいては労働生産性を高めることと農業生産額を上げるということを設定している。これは銀行の業務とは関係ないが、特に宇城市でいうと労働生産性が高いのは製造業、建設業、医療福祉。昨年経済センサスが行われたのでまた新しい結果が出ると思うが、宇城市の労働生産性は製造業の方がかなり牽引しているので、我々としては製造業の方が労働生産性を高めるところに対して銀行としてお手伝いできることということでやっている。

住民税や法人市民税のことがあったが、そこを情報共有しながらやっていくことで住民一人当たりの所得が上がっていくということもあるかと思う。

健康のところでも、宇城市だけで目標を立ててK P Iがどうこうではなく、市民や働いている人たちに当事者意識をどれだけ持ってもらおうかということをやられた方がいい。市だけの責任ではなく、そこで暮らしてる人たちもそれなりに責任をもってやっていかないと、人口が減っていく中でどうしていくかというところ、一人当たりの生産性を上げていかないと、だめになるのは明らかなので、市がリーダーシップをとるだろうが、できるだけ企業や市民の方が当事者意識をもって参加できるようにやっていただければ。

（会長）

委員も言われたように、今は行政だけがやるというようなことではない。何か具体的な事業をしようとするとき、従来は行政が考えて何かしようとしていた。そうではなくて、考える段階で民間の知恵を入れてもらわないと、結局はやりたことが結果として出ないというような可能性も高い。ハードルが高いかもしれないが、民間の力を借りた方がより成果が出ると思われるものについては、民間の協力を仰ぐというのにも必要。

（委員）

昨年12月に宇城の地域活性化に向けたプラットフォームうきまちラボを立ち上げた。これ何かというと地域でいろんな活動をされている方がいらっちゃって、もちろん商工会とか観光物産協会さんもいらっちゃって。その中に、地域おこし協力隊という方が各市町にいらっしゃる。宇城地域全体で19人、来年度も含めると30人近くになっていくと思うが、この人たちがストレートに言う地域に遠慮してなかなか活動できない人もいれば、積極的に動いてる人がいてそうした人と地域の団体が繋がって活動しているというところもある。

週末ごとに色々な地域に行って話を聞くと、美里町には三角の人はあまり来ていない、例えば宇土の網田駅には豊野や美里の人は来ていないとか、それが当たり前なのかなと思っていたが、イベントをやったら約50人の人に来ていただいて、皆さん交流について意欲的で、こういう場があってよかった、これからも活動を知りたいという風に言われていた。

私達が行政で何かやろうとしたときに自分たちの力だけでなくその人たちの力っていうのはもう無限大にあるんだなと、人口が減っても人と人の繋がりを増やすと活動自体は減らないんじゃないかなと、そういう意識で実はひと月前に立ち上げた。ただあまり皆さんにまだPRができていないので、今日は宇城市だが、隣の宇土市、美里町、ゆくゆくは県内で色々な取組が派生して、イベントやったらそこだけじゃなくて周りからも入ってきて、去年の2倍3倍というようなことになればいいなと思って立ち上げたので、ぜひ皆さんそういうネットワークに参加いただいて、他の地域を知ること自分たちの地域に人を呼び込む、ただこっちの地域に来てくれ、来てくれだけじゃ良くないので、そういう関係作りをしたらいいのではないかな。

そのために協力隊の方も3年間いらっしゃる。幸いにして宇城で起業された方もいるが、外に出ていくという方も半分以上いる。これはもったいないと思うので、その人たちが3年間のミッションの中でやっぱり宇城に残ろうという風に思っただけのよう振興局としてはお助けしたいと思っている。

(委員)

色々な団体に所属していて、理事を務める県の団体の新年会に参加したとき、集札関係の話になった。各市町村で入札があるが、市外の業者はほぼ入れない。一般競争入札なので仕方のないことでもあるが、宇城市はどこでも入れる。一般の業者から見れば、宇城市は安ければいいんだという風に見られるというところもあるのではないかな。他の市町村では入りたくても入れない、市内の業者を優先するという風潮がどこもあるが、宇城市はそういったものがないというところからすると、地元の業者からしたら、宇城市にいても意味がないというようなことももしかしたらあるのかもしれない。宇城市の税金だとかと上げるということを考えれば、市内の企業に対してできることをやっていくということも必要ではないか。県や熊本市もやろうとしている。

別の話で、三角に橋が架かるということで、豊野から三角に出てきたが、やっぱりやめておけばよかったと言われていた方がいた。逆に言えば、チャンスがあるとなれば皆さんやってくるのではないかなと思う。そういうチャンスを作り上げることができれば、宇城市を魅力と思って他の地域からやってくる人も出てくると思うので、そういう何かを作り上げていかなければならないと思う。その何かというのは、行政だけでなく住民や民間、色々な人とコミュニケーションを取りながら考えて作っていければいいのではないかなと感じた。

(会長)

合併市で旧町村単位で呼んでいるうちはだめ。少なくとも旧町村単位の考え方を市民の方が持っている限り、宇城市全体の話をしてピンとこないと思う。魅力度ランキングでも13位となっているが、これを変えるためにはいかに「宇城市」というのを県内外で認識されるようにならないと。

合併して20年になるので、もういい加減「宇城市」にならないと。

急に次の計画で全部やめろとは言わないが、旧町村単位、旧行政区単位ではないまちづくりの方向性、宇城市としての方策ですという風にしていった方がよいと思う。

(委員)

いい話だなと思ったが、できるのか。例えば旧町5町あるが、宇城市中央区とか東区とか。

(会長)

地名を変えるのは難しいだろうが、何々ゾーンとかでもいい。

(会長)

他に無ければ、次の議題に移る。(3) 令和7年度以降の宇城市まち・ひと・しごと創生有識者会議について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

(資料1) 令和6年度第2回宇城市まち・ひと・しごと創生有識者会議資料について説明

(会長)

事務局の説明に関して、委員の皆様から御意見御質問等はないか。

(植田委員)

総合計画審議会では法との関連についてお尋ねしていたが、そこについては問題ないということで良いか。

(事務局)

総合戦略の策定については、まち・ひと・しごと創生法により国・県の戦略を勘案して策定するものだが、会議体の構成や会の進め方等については各自治体で決定するものであるため、特に統合することについての制約はない。

先に総合計画審議会の方で統合の案を提示させていただいた際、どちらかを統合先として残すということには違和感があるとの御意見があったため、見直して新たな審議会を設置することとしている。

(会長)

他市町村でも統合している例もあり、上位計画ではあるが総合計画は策定自体が自治体判断となっており、総合戦略の内容と重複する課題も多いということで、一つの会議体で審議していこうということ。

(会長)

他に無ければ、(4) その他について何かあるか。

(事務局)

今回いただいた御意見を踏まえ、次期戦略案を策定し、2月25日開催予定の次回会議で提示させていただく。

また、次回会議では、三角・豊野地域を対象とした宇城市過疎地域持続的発展計画の中間評価についても審議いただく予定である。

(会長)

委員の皆様から何か御発言はあるか。

特になければ、以上ですべての議事が終了した。事務局にお返しする。

(事務局)

以上をもって令和6年度第2回まち・ひと・しごと創生有識者会議を閉会する。